

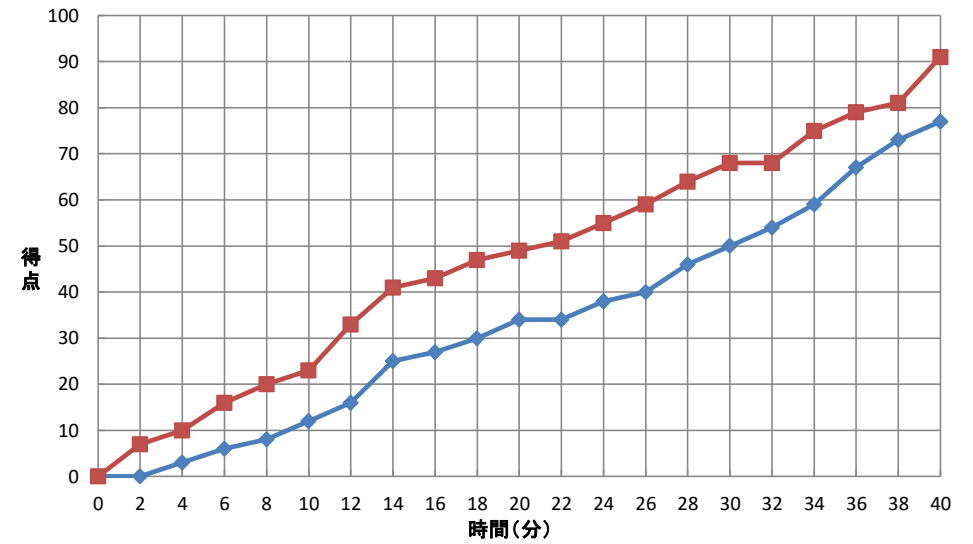


第71回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

男子		令和6年6月23日		11:05 開始													
準決勝		和歌山ビックホエール		D													
阪南大学	77	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>23</td></tr> <tr><td>22</td><td>2nd</td><td>26</td></tr> <tr><td>16</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>27</td><td>4th</td><td>23</td></tr> </table>	12	1st	23	22	2nd	26	16	3rd	19	27	4th	23	91	◎ 京都精華学園	(京都)
12	1st	23															
22	2nd	26															
16	3rd	19															
27	4th	23															
(大阪)																	
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
0	稲垣 圭亮	-	-	-	-	-	1	木下 梁	-	-	-	-	-				
* 4	ソワングナ ナネドク ゴツウマイル	24	0	9	6	1	* 6	上野 叶翔	9	0	4	1	1				
10	ニベフネ ナブノ ジャフエント	0	0	0	0	0	* 7	善山 莞太	5	0	2	1	0				
* 11	池野 照汰	6	0	3	0	3	* 13	新開 温矢	18	0	8	2	0				
26	田深 翔太	4	0	2	0	4	14	西村 晴太	0	0	0	0	0				
31	坂上 蓮	0	0	0	0	1	15	西本 圭汰	-	-	-	-	-				
* 33	吉田 晴秋	0	0	0	0	1	17	善山 奏介	11	3	1	0	2				
* 35	酒井 優	17	0	8	1	1	19	竹村 寅治郎	-	-	-	-	-				
* 37	松本 星希	25	5	5	0	4	21	杉原 拓	-	-	-	-	-				
41	中河原 温大	-	-	-	-	-	* 23	東郷 然	8	0	3	2	1				
54	川島 恭平	-	-	-	-	-	32	中村 太優	2	0	1	0	1				
66	澤田 世生	-	-	-	-	-	34	キモナ ディエウ	4	0	2	0	5				
67	児玉 遼太	1	0	0	1	1	35	山崎 燦吾	-	-	-	-	-				
71	窪田 幸志郎	-	-	-	-	-	* 77	ソロモン レイモンド	34	2	13	2	2				
91	花田 龍哉	-	-	-	-	-	89	松崎 大地	-	-	-	-	-				
コーチ	森本 正						コーチ	山崎 翔一朗									
Aコーチ	坂本 洋志						Aコーチ	常谷 拓真									
合計		77	5	27	8	16	合計		91	5	34	8	12				
クルーチーフ: 北村 仁																	
アンパイア: 嶋田 博昭 大溝 貴広																	

得点経過



TO	1・2Q	3・4Q			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	6:14	11:59	26:22	32:56	38:42	:	:	:
TeamB	13:10	:	35:45	:	:	:	:	:

[戦 評]

[第1Q]

男子準決勝

阪南大学#4#11#33#35#37、京都精華学園#6#7#13#23#77両チームマンツーマンでスタート。京都精華は#77のリバウンドシュート、#6のバスケットボールカウントで波に乗る。対する阪南大学は京都精華の厳しいディフェンスに攻めきれない時間帯が続く。京都精華優勢のまま12対23で終える。

[第2Q]

阪南大学は#4のインサイドで幸先良く先制する。しかし、京都精華#77がバスケットカウント、速攻で流れを簡単には渡さない。残り8分、阪南大学はゾーンディフェンスに変更。オフェンスでは#37の3Pシュートや速攻が決まり流れをつくる。しかし、京都精華も冷静に3Pシュートやゴール下、速攻などで取り返し34対49京都精華リードで前半終了。

[第3Q]

後半開始早々、阪南大学が決めれば京都精華が決め返し、一進一退の時間帯が続く。互角の戦いをしていいる中、残り3分、阪南大学がタイムアウトを要求。ここから阪南大学#4が連続得点し、試合を優位に進める。しかし、京都精華も#77の3Pシュートなどでやり返し、50対68で最終Qへ。

[第4Q]

阪南大学はオールコートディフェンスに変更したことが功を奏し点差を詰めることに成功。しかし、京都精華も譲らず、#17の3Pシュート、#6の速攻で立て直す。残り5分、阪南大学は#37の連続3Pシュートで息を吹き返しディフェンスの強度も上がり、更に#4のドライブで得点する。しかし反撃もそこまで、京都精華の安定したゲームコントロールによって逆転は許さず白熱した試合は77対91京都精華が決勝に駒を進めた。

戦評:

記録: 桐蔭